



文部科学省・外務省後援

第4回 PDA 高校生パーラメンタリーディベート

世界交流大会 報告書

一般社団法人 パーラメンタリーディベート人財育成協会 (PDA)

日程：

2019年1月18日（金）、19日（土）、20日（日）

会場：

ホテル日航関西空港 関西空港会議場

〒549-0001 大阪府泉佐野市泉州空港北1番地

TEL: (81) 72-455-1111

主催：	一般社団法人パーラメンタリーディベート人財育成協会 (PDA)
共催：	JST 未来社会創造事業「持続可能な社会の実現」領域「知」の循環と拡張を加速する対話空間のメカニズムデザイン」プログラム
助成：	一般社団法人東京倶楽部、公益財団法人 日本財団、公益財団法人 KDDI 財団
後援：	文部科学省、外務省、朝日新聞社、朝日中高生新聞、一般社団法人日本英語交流連盟、大阪府立大学

参加校とディベートチーム：18 チーム（日本 6 チーム、海外 12 チーム）

日本 福井県立藤島高校
日本 渋谷教育学園渋谷高等学校
日本 翔凛高等学校
日本 大阪府立北野高等学校
日本 山口県立山口高等学校
日本 沖縄県立球陽高等学校

フィリピン Timber City Academy
Caraga Regional Science High School

韓国 Busanjangsan High School

カンボジア Abundant Life International School

モンゴル Hobby School of Ulaanbaatar' s

マレーシア Lodge National Secondary School

ニュージーランド、マレーシア 清教学園

アメリカ、南アフリカ、ルーマニア UMCA

スウェーデン (Swing A)

イギリス、アメリカ (Swing B)

ロシア、インドネシア、マレーシア (Swing C)

メキシコ、チリ (Swing D)



大会趣旨

昨今、グローバル化の加速により、多様な文化や考え方を理解し、グローバル社会で貢献できる人財の育成が求められています。本大会は、パラメンタリーディベートを通して、英語での発信力、論理的思考力、幅広い知識・考え方、コミュニケーション力など複数の力を発揮し、様々な国の人と同じ土俵で議論し、成長する機会を提供します。ディベートの日頃の練習成果を世界の舞台上で試すだけでなく、ディベートという手法を通して効果的な国際交流を図るプログラムであります。キーノートスピーチなど専門の講演も取り入れ、最新の現場で活躍できる人材育成も目指しております。また、スケジュールも国際会議、国際学会に似たものとし、高校生にとって、将来的にこのような世界の舞台に参加するイメージや各々の目標を持ってもらえれば幸甚です。なお、本大会では、文部科学省助成調査研究の結果を踏まえ、通常の授業でできる即興型英語ディベートのフォーマットを用います。そうすることにより、クラブの生徒に加え、一般の生徒も参加しやすい形態となっています。

論題（論題は、毎回ディベート開始 15 分前にはじめて発表されます）

予選 1 : Anonymous writing on the Internet should be prohibited.

インターネット上の匿名の書き込みは禁止されるべきである。

予選 2 : As a form of welfare for the poor, providing basic goods and services (e. g. food stamp, job training and so on) is better than providing cash.

貧困層への社会保障として、生活最低限のものやサービス（例えばフードスタンプや職業訓練など）の支給は現金支給よりもよい。

予選 3 : In aging societies, the young should be given more votes.

高齢化社会において、若者はより多くの票をもつべきである。

準々決勝 : Exclusive schools for LGBT should be established.

LGBT のための学校は創立されるべきである。

準決勝 : Private ownership of guns should be prohibited in United States.

アメリカにおける銃の個人所有は禁止されるべきである。

決勝 : Parents/educators should encourage children to choose start-up rather than traditional path.

親または教育者は伝統的なキャリアパスよりもスタートアップを選択するように子供に勧めるべきである。

Context Slide: When children pursue their future career in business world, parents and educators currently tend to promote the traditional path (i.e. employee in a company.)

背景説明 : 子供たちが将来のキャリアとしてビジネス界を考えている場合、親や教育者は（企業に雇用されるなどの）伝統的なキャリアパスを子供に勧めるという傾向が現状ではみられる。

キーノートスピーチ講師

KHAN ジャパン（カームジャパン）株式会社 代表取締役
宮松寛有（みやまつ ひろくに）氏



1 日目（開会式、Mix Debate、カルチャーナイト）

海外 15 ヶ国から 12 チーム、日本からは 6 校が参加しました。第 4 回 PDA 高校生パラメンタリーディベート世界交流大会がいよいよ始まり、開会式ではディベート推進委員の北田から挨拶と各国のチーム紹介、チーフジャッジの綾部からルールの確認がありました。



1 日目は Mix Debate です。各国からランダムに選ばれたグループ内で、初めて会う様々なバックグラウンドを持つ人々と、ディベートを通して繋がっていきます。論題は「Long distance relationship is better than short distance relationship. 遠距離における人間関係は短距離における人間関係よりも良い」と「Elementary schools should put students into classes according to their academic ability from the early stage of education, 初等教育において小学校は生徒を学力によってクラス分けすべきである」の 2 つでした。普段ディベートする仲間と離れ、普段とは違った形で議論を作り上げていくことは生徒たちにとって刺激的であったようです。

日本人の生徒に聞いたところ、「準備時間に互いに理解しつつ進めなければならないので大変だったが、論題を通じて各国の実際の状況や雰囲気を知れたので、すごく勉強になった。」と笑顔で語りました。





カルチャーナイト（文化紹介交流）では、各々が各国の伝統衣装を身にまといました。また、文化パフォーマンスが行われ、国家の紹介や自国の綺麗な景色や伝統的な文化などを紹介しました。



中には空手の演武やフィリピンの伝統的な民族舞踊を披露したりするチームもあり、会場はとても盛り上がりました。



2日目（予選、レクリエーション、バンケット）

2日目、いよいよ予選が始まりました。Mix Debate とはまた違った空気感の中、各国チームに分かれて真剣な議論が繰り広げられます。積極的に POI が行われ、議論を深める姿勢が多くみられました。



予選後はレクリエーションの時間です。ここではこの後のバンケットに行われる社交ダンスの練習会がありました。リラックスした空気ですら互いに言葉を交わしあうことで、ディベートとはまた違う楽しさを感じたようです。



休憩をはさみ、バンケットが行われました。

始めに、緊張のブレイクアナウンスメント（予選の結果発表）です。明日の本選に出場するチームが発表されました（結果は下記に示した通りです）。

その後、講師のマイケルさんをお呼びして、社交ダンスが行われました。出身にかかわらず言葉を交わしあい、笑顔でダンスを楽しむ姿が印象的でした。すっかり打ち解けた生徒たちは、その後フリートークや写真撮影で交流をさらに深めていました。



予選結果

- 1位 フィリピンB (Timber City Academy)
- 2位 フィリピンA (Caraga Regional Science High School)
- 3位 モンゴル (Hobby School of Ulaanbaatar' s)
- 4位 イギリス & アメリカ (Swing B)*
- 5位 韓国 (Busanjangsan High School)
- 6位 福井県立藤島高等学校
- 7位 スウェーデン (Swing A)*
- 8位 ニュージーランド & マレーシア (清教学園) *
- 9位 メキシコ & チリ (Swing D)*
- 10位 翔凜高等学校
- 11位 渋谷教育学園渋谷高等学校
- 12位 カンボジア (Abundant Life International School)

3日目（準々決勝、準決勝、決勝、キーノートスピーチ、閉会式）

3日目は準々決勝からです。予選を勝ち抜いたチームが真剣な議論を繰り広げました。また、予選敗退してしまったチームも積極的に意見を交換し合う様子が見られました。



小休憩の後、準決勝が行われました（藤島高等学校 VS フィリピンB, 渋谷教育学園渋谷高等学校 VS モンゴル）。舞台の上を用意されたテーブルにつき、堂々としたスピーチが行われました。



決勝の前に、キーノートスピーカー、宮松 寛有氏（KHAM ジャパン株式会社 代表取締役）のご登壇があり、ビジネスのスタートアップ、IoT、イノベーションの重要性についてご講演いただきました。



キーノートスピーチの後はいよいよ決勝（渋谷教育学園渋谷高等学校 対 藤島高等学校）です。ジャッジは各国の代表の先生たちに加え、特別審査員としてキーノートスピーカーの宮松氏を迎えての審査となりました。心地よい緊張感の中、3日間ディベートを共にし、勝ち上がってきたチームのスピーチを生徒たちは真剣な眼差しで見つめていました。そして優勝者は渋谷教育学園渋谷高等学校でした。



閉会式では表彰式とチーフジャッジの綾部から「異なる文化の人々とディベートを通して交流すること、友人を作ることが非常に重要。参加者全員がそれを達成できたと思う。これからもこの繋がりを大切にしてください」と総括がありました。参加者はスタンディングオベーションでお互いの健闘をたたえ合いました。



会場となったホテル日航関西空港も、世界交流大会にふさわしい素晴らしい環境を提供してくださいました。大盛況のうちに世界交流大会は幕を閉じました。大会に参加された世界の高校生、引率の先生、キーノートスピーカーの皆様、この世界交流大会を助成、後援、応援くださったすべての皆様に心より感謝申し上げます。

第4回 PDA 高校生パラメンタリーディベート世界交流大会結果

チーム賞

優勝： 渋谷教育学園渋谷高等学校

準優勝： 福井県立藤島高等学校

準決勝出場チーム： モンゴル、フィリピン B

準々決勝出場チーム： カンボジア、フィリピン A、翔凜高校、韓国

個人賞

ベストディベーター賞

- 第1位 [REDACTED] (フィリピン B - Timber City Academy)
- 第2位 [REDACTED] (翔凜高校)
- 第2位 [REDACTED] (メキシコ、チリ - Swing D)
- 第2位 [REDACTED] (イギリス、アメリカ - Swing B)
- 第2位 [REDACTED] (フィリピン B - Timber City Academy)
- 第7位 [REDACTED] (山口高等学校)
- 第7位 [REDACTED] (北野高等学校)
- 第7位 [REDACTED] (渋谷教育学園渋谷高等学校)
- 第7位 [REDACTED] (藤島高等学校)
- 第7位 [REDACTED] (藤島高等学校)
- 第7位 [REDACTED] (アメリカ、南アフリカ、ルーマニア - YMCA)
- 第7位 [REDACTED] (スウェーデン - Swing A)
- 第7位 [REDACTED] (スウェーデン - Swing A)
- 第7位 [REDACTED] (マレーシア - Lodge National Secondary School)
- 第7位 [REDACTED] (モンゴル - Hobby School of Ulaanbaatar' s)
- 第7位 [REDACTED] (カンボジア - Abundant Life International School)
- 第7位 [REDACTED] (フィリピン B - Timber City Academy)
- 第7位 [REDACTED] (韓国 - Busanjangsan High School)
- 第7位 [REDACTED] (韓国 - Busanjangsan High School)

POI 賞

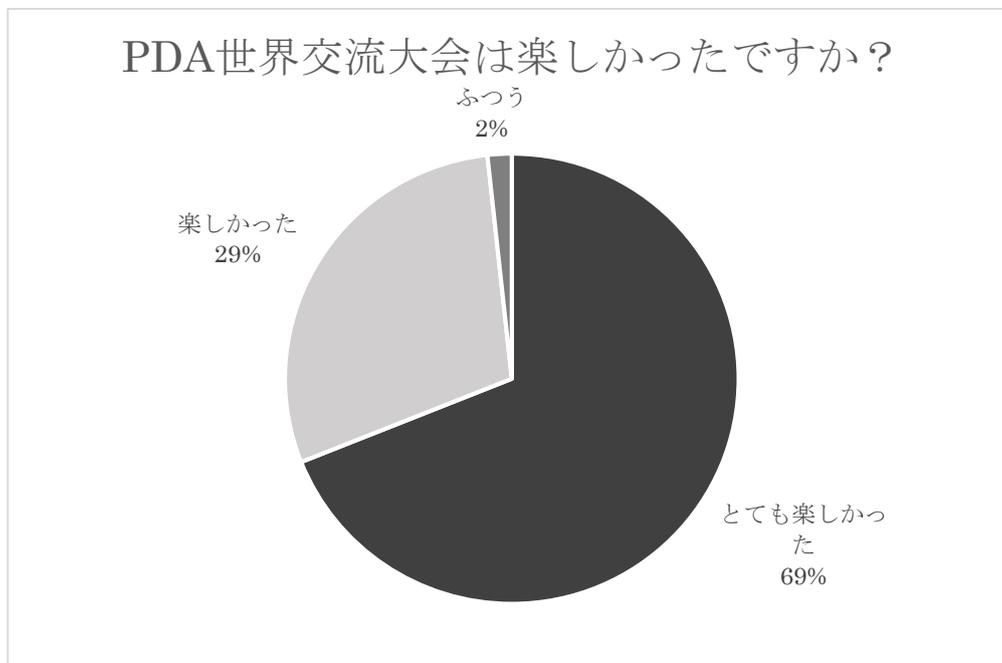
- [REDACTED] (渋谷教育学園渋谷高等学校)
- [REDACTED] (アメリカ、南アフリカ、ルーマニア - YMCA)
- [REDACTED] (マレーシア - Lodge National Secondary School)

- (球陽高等学校)
- (北野高等学校)
- (フィリピン A - Caraga Regional Science High School)
- (藤島高等学校)
- (藤島高等学校)
- (ニュージーランド、マレーシア - 清教学園)
- (ロシア、インドネシア、マレーシア - Swing C)
- (イギリス、アメリカ - Swing B)
- (モンゴル - Hobby School of Ulaanbaatar' s)
- (フィリピン B - Timber City Academy)
- (フィリピン B - Timber City Academy)
- (韓国 - Busanjangsan High School)

文化賞

フィリピン B (Timber City Academy)

第4回 PDA 高校生パラメンタリーディベート世界交流大会 アンケート結果と感想



アンケート結果

世界交流大会の感想（抜粋）

- 「すべてのイベントが楽しかったし、自分が無知なことを知れた。また、外国の人としゃべれたことが今まであまりなくて、新鮮ですごく楽しかった。」（日本）
- 「ディベートを通して他の国のディベーターと交流することで様々な国について学ぶことができた。」（マレーシア）
- 「日本とは異なる価値観・考え方をディベートを通してダイレクトに知ることができました。日本で学校生活を送るだけでは得られない体験で楽しかったです。」（日本）
- 「ディベートのトピックがまさに今世界中で起こっている出来事に関してで興味深かった。」（カンボジア）
- 「ディベートの試合がとても面白かった。PDAWCに参加するのはこれが初めてだったがとても素晴らしかったし、世界中の高校生と会えたのもいい経験になった。」（インドネシア）
- 「海外の人もいる中でディベートをするのはお互いのアイデアなどをシェアしたり交換したりするととてもいい機会になった。」（フィリピン）

世界交流大会に参加して最もよかった点（役に立った点） に関しては：

- 「ダンスパーティーやディベート後の会話を通して外国の人とコミュニケーションを買わせたこと。」（日本）
- 「カルチャーナイトはとても意義深いと思った。カルチャーナイトを通して様々な国のことを学ぶことができた。」（韓国）
- 「トーナメントとミックスディベート。意思疎通が難しく、自分の英語力の不足を実感しましたが、外国の方と交流ができて楽しかったです。」（日本）
- 「カルチャーナイトが面白かった。お互いの国のことをより深く知ることができたことも嬉しかったし、自分たちの文化について興味を持ってもらえたこともとても嬉しかった。」（日本）
- 「PDAWC に参加してみて一番おもしろかったなと感じたのはミックスディベートでした。お互いに学びあったり経験を共有したりするととても素晴らしい時間となりました。」（カンボジア）



集合写真